

実戦問題

A 産業の発達 次の問いに答えなさい。

(1) 農業の発達について、次の文中の()にあてはまる語句を書け。

- ・ (①) の開発…土地の開墾、用水路の建設、海・沼の干拓など。
- ・ 農具の改良…土を深くたがやす(②)、脱穀用の(③)、かんがい用の踏車^{ふみぐるま}など。
- ・ 農業技術書の普及…宮崎安貞の「(④)」などにより、農業技術が各地に伝わる。
- ・ (⑤) の栽培…麻・綿・菜種・藍・紅花などの栽培が広まる。

① {

② {

③ {

④ {

⑤ {

(2) 商業の発達と町人の台頭について、次の文中の()にあてはまる語句を書け。

- ・ 問屋や仲買などの大商人は、(①) とよばれる同業者組織を結成し、営業の独占を図った。
- また、金銀の交換など、今日の銀行のような業務を行う(②) も増え、三井・鴻池などは、
ばく大な富を築いた。

① {

② {

(3) 次の A～C は、右の地図中の A～C の都市を説明したものである。A～C の都市名を書け。

A 「将軍のおひざもと」とよばれ、18世紀初めには人口約100万人の大都市に発展した。

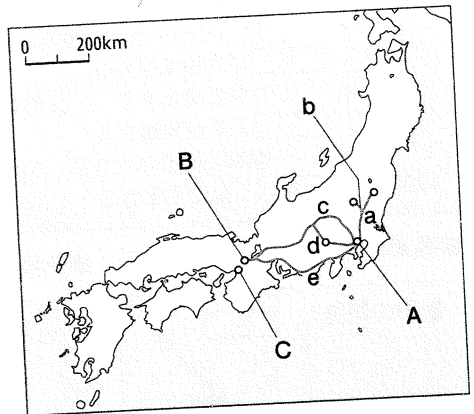
A {

B 文化の中心として栄え、西陣織などの工芸品の生産でも知られた。

B {

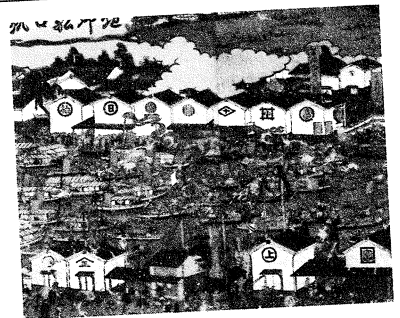
C 「天下の台所」とよばれ、全国の商業・金融の中心地であった。

C {



【読解】(4) 右の資料は、多くの蔵屋敷がおかれ、「天下の台所」とよばれた地図中の C の都市の港のようすである。C の都市が商業の中心地として栄えた理由を、おもに蔵屋敷に運びこまれたものを明らかにして、簡単に書け。

〈鹿児島〉



(5) 地図中の A・C の都市間を往復した定期船の名を2つ書け。

{

}

(6) 地図中の a～e の幹線道路をまとめて何というか。

(7) 江戸幕府により整備された(6)の1つで、現在の滋賀県から関ヶ原^{せきがはら}を通っていた街道を何というか。

〈滋賀改〉 {

【読解】(8) 地図中の幹線道路には関所が設けられていた。その理由を、簡単に書け。